# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 11127028 A

(43) Date of publication of application: 11 . 05 . 99

(51) Int. CI

H03B 5/12 H03J 3/20

(21) Application number: 09288254

(22) Date of filing: 21 . 10 . 97

(72) Inventor:

(71) Applicant:

ALPS ELECTRIC CO LTD

YAMAGATA YUICHIRO

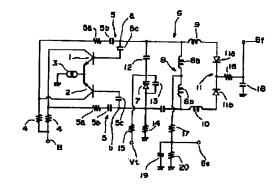
### (54) BALANCED OSCILLATOR

#### (57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent a resonance circuit from being unbalanced at the time of band changeover of a balanced oscillator.

SOLUTION: This oscillator is provided with a 1st terminal (a), a 2nd terminal (b), a varactor diode 7 that is connected between the 1st terminal (a) and the 2nd terminal (b) and receives a tuning voltage to change an oscillating frequency, a 1st inductor 8 that is connected between the 1st terminal (a) and the 2nd terminal (b) and 2nd and 3rd inductors 9, 10 connected in series between the 1st terminal (a) and the 2nd terminal (b). Then a switch means 11 that connects or disconnects the 2nd inductor 9 and the 3rd inductor 10 in terms of high frequencies is placed between the 2nd inductor 9 and the 3rd inductor 10.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO



## (19) 日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

# 特開平11-127028

(43)公開日 平成11年(1999)5月11日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

H03J

識別記号

FΙ

H03B 5/12

3/20

H 0 3 B 5/12 H 0 3 J 3/20 Α

審査請求 未請求 請求項の数5 OL (全 5 頁)

(21)出願番号

(22)出願日

特願平9-288254

(71)出顧人 000010098

平成9年(1997)10月21日

アルプス電気株式会社

東京都大田区雪谷大塚町1番7号

(72)発明者 山縣 涌一朗

東京都大田区雪谷大塚町1番7号 アルブ

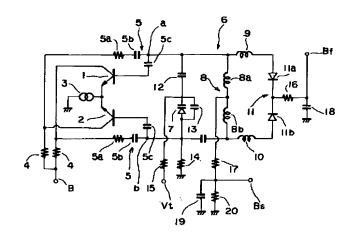
ス電気株式会社内

# (54) 【発明の名称】 平衡型発振器

#### (57)【要約】

【課題】 平衡型発振器のバンド切り替え時に、共振回路が不平衡状態とならないようにする。

【解決手段】 第一の端子aおよび第二の端子bと、前記第一の端子aと前記第二の端子bとの間に接続されるとともに発振周波数を変えるための同調電圧が供給されるバラクタダイオード7と、前記第一の端子aと前記第二の端子bとの間に接続された第一のインダクタ8と、前記第一の端子aと前記第二の端子bとの間に直列的に接続される第二および第三のインダクタ9、10とを備え、前記第二のインダクタ9と前記第三のインダクタ10との間に前記第二のインダクタ9と前記第三のインダクタ10とを高周波的に接続または切り離すスイッチ手段11を設けた。



### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 第一の端子および第二の端子と、前記第一の端子と前記第二の端子との間に接続されるとともに発振周波数を変えるための同調電圧が供給されるバラクタダイオードと、前記第一の端子と前記第二の端子との間に接続された第一のインダクタと、前記第一の端子と前記第二の端子との間に直列的に接続される第二および第三のインダクタとを備え、前記第二のインダクタと前記第三のインダクタとあ記第三のインダクタと前記第三のインダクタとを高周波的に接続または切り離す 10スイッチ手段を設けたことを特徴とする平衡型発振器。

1

【請求項2】 前記第二のインダクタのインダクタンス値と前記第三のインダクタのインダクタンス値とをほぼ同じとしたことを特徴とする請求項1記載の平衡型発振器。

【請求項3】 前記スイッチ手段をスイッチダイオードで構成し、前記第一のインダクタの中点と前記スイッチダイオードの一端との間に前記スイッチダイオードを導通または非導通に切り替えるための電圧を供給するようにしたことを特徴とする請求項1または2記載の平衡型 20 発振器。

【請求項4】 前記スイッチ手段をスイッチダイオードで構成し、前記第一のインダクタを互いに直列接続された第四のインダクタと第五のインダクタとで構成し、前記四のインダクタと前記第五のインダクタとの接続点と前記スイッチダイオードの一端との間に前記スイッチダイオードを導通または非導通に切り替えるための電圧を供給するようにしたことを特徴とする請求項1または2記載の平衡型発振器。

【請求項5】 前記スイッチダイオードをアノード同志 30 またはカソード同志が互いに接続された第一のスイッチ ダイオードおよび第二のスイッチダイオードで構成し、前記中点または前記接続点と前記アノード同志との間、または前記中点または前記接続点とカソード同志との間に前記切り替えのための電圧を供給するようにしたことを特徴とする請求項3または4記載の平衡型発振器。

#### 【発明の詳細な説明】

#### [0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、テレビジョン信号の受信チューナ等の局部発振器に用いて好適なバンド切 40 り替え機能を有する平衡型発振器に関する。

#### [0002]

【従来の技術】従来の平衡型発振器(以下、単に発振回路という)を図2を参照して説明する。第一の発振トランジスタ41と第二の発振トランジスタ42はそれらのエミッタ同志が定電流源43に接続され、コレクタには電源端子Bから抵抗44、44を介して電源電圧が印加される。また、第一の発振トランジスタ41のベースと第二の発振トランジスタ43のベースと第一の発振トランジスタ43のベースと第一の発振トランジ 50

スタ43のコレクタとの間には同じ構成の帰還回路4 5、45が接続される。帰還回路45、45は、それぞれ直列に接続された抵抗45a、第一のコンデンサ45 bおよび第二のコンデンサ45cで構成されている。

【0003】そして、二つの帰還回路45、45のそれ ぞれの第一のコンデンサ45bと第二のコンデンサ45 c との接続点A、B間に共振回路46が接続されてい る。共振回路46はバラクタダイオード47、二つのイ ンダクタ48、49等を有して並列共振回路を構成して いる。即ち、バラクタダイオード47は、直流阻止コン デンサ50と直列接続されて接続点A、B間に設けられ ており、このバラクタダイオード47には補正コンデン サ51が並列に接続されている。そして、バラクタダイ オード47のアノードがバイアス抵抗52を介してグラ ンドに接続され、カソードには同調端子V t から給電抵 抗53を介して同調電圧が供給されるようになってい る。ここで、バイアス抵抗52および給電抵抗53の抵 抗値は、バラクタダイオードの逆方向漏れ電流が一般的 には極めて少ないので、数十乃至数百ΚΩ(キロオー ム)の範囲に選ばれる。

【0004】また、接続点A、B間に接続されるインダ クタ48、49は互いが直列接続され、一方のインダク タ48には直流阻止コンデンサ54を介してスイッチダ イオード55が並列に接続されている。そして、スイッ チダイオード55のカソードにはバイアス抵抗56の一 端が接続され、このバイアス抵抗56を介してバイアス 端子Bfからの固定バイアス電圧が印加されおり、ま た、アノードには給電抵抗57の一端が接続され、この 給電抵抗57を介して切り替え端子Bsからの切り替え 電圧が供給されるようになっている。なお、固定バイア ス電圧および切り替え電圧に重畳されているノイズをカ ットするために、バイアス抵抗56の他端と給電抵抗5 7の他端とはそれぞれ直流阻止コンデンサ58、59を 介してグランドに接続している。また、給電抵抗57の 他端はバイアス抵抗60を介して直流的にグランドに接 続している。

【0005】以上の構成の平衡型発振器において、例えば、テレビジョン信号のうち周波数の高いハイバンドの信号を受信する場合(以下、ハイバンド時という)には、スイッチダイオード55を導通状態としてインダクタ48の両端を高周波的に短絡することによって共振回路46の共振周波数を高くし、一方、テレビジョン信号のうち周波数の低いローバンドの信号を受信する場合(以下、ローバンド時という)には、スイッチダイオード55を非導通状態としてインダクタ48からスイッチダイオード55を高周波的に切り離すことによって共振回路46の共振周波数を低くするようにしている。このため、スイッチダイオード55のカソードにはバイアス端子Bfからの固定バイアス電圧を常時印加しておき、ハイバンド時は切り替え端子Bsに固定バイアス電圧よ

りも電圧の高い切り替え電圧を供給する。また、ローバンド時は、切り替え端子Bsにはほぼ0ボルトの切り替え電圧を供給するかまたはこの切り替え端子Bsを解放する。

【0006】ここで、バイアス端子Bfに印加される固定バイアス電圧や切り替え端子Bsに供給される切り替え電圧は、消費電力の観点から低いことが望ましい(固定バイアス電圧は3~5ボルト、ハイバンド時の切り替え電圧は6~8ボルト)が、スイッチダイオード55を充分な導通状態にするために、バイアス抵抗56や給電 10抵抗57の抵抗値は、通常数百Ω(オーム)に設定されている。

#### [0007]

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記のような 従来の平衡型発振器では、バンド切り替えのためのスイ ッチダイオード55が、直列接続された二つのインダク タ48、49のうちの一方のインダクタ48に並列接続 されているので、ローバンド時には接続点Aがバイアス 抵抗56と直流コンデンサ58とを直列に介してグラン ドに接続され、また、ハイバンド時には、さらに、給電 20 抵抗57と直流コンデンサ59を直列に介してグランド に接続されることになる。しかも、バイアス抵抗56お よび給電抵抗57の抵抗値は比較的小さいので、接続点 AとB、従って共振回路46の両端、のグランドに対す る高周波的な電位が等しくならず、不平衡となる。

【0008】ところで、平衡型発振器は、グランド(接地)を基準して互いに逆相となる(位相が180度異なる)二つの局部発振信号が存在することから、空間を介して周辺の回路へ飛びつく局部発振信号のレベルが少なくなるという利点を有し、また、平衡型発振器の基本動作上、偶数次(特に問題になるのは二次)高調波が発生しないという利点も有している。しかし、上記のように共振回路46において不平衡状態が生じると、前述した平衡型発振器の利点が失われるという問題が発生する。そこで、本発明の目的は、平衡型発振器のバンド切り替え時に、共振回路が不平衡状態とならないようにすることである。

#### [0009]

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、本発明の平衡型発振器は、第一の端子および第二の40端子と、前記第一の端子と前記第二の端子との間に接続されるとともに発振周波数を変えるための同調電圧が供給されるバラクタダイオードと、前記第一の端子と前記第二の端子との間に接続された第一のインダクタと、前記第一の端子と前記第二の端子との間に直列的に接続される第二および第三のインダクタとを備え、前記第二のインダクタと前記第三のインダクタとあ高周波的に接続または切り離すスイッチ手段を設けた。

【0010】また、本発明の平衡型発振器は、前記第二

4

のインダクタのインダクタンス値と前記第三のインダク タのインダクタンス値とをほぼ同じとした。

【0011】また、本発明の平衡型発振器は、前記スイッチ手段をスイッチダイオードで構成し、前記第一のインダクタの中点と前記スイッチダイオードの一端との間に前記スイッチダイオードを導通または非導通に切り替えるための電圧を供給するようにした。

【0012】また、本発明の平衡型発振器は、前記スイッチ手段をスイッチダイオードで構成し、前記第一のインダクタを互いに直列接続された第四のインダクタと第五のインダクタとで構成し、前記四のインダクタと前記第五のインダクタとの接続点と前記スイッチダイオードの一端との間に前記スイッチダイオードを導通または非導通に切り替えるための電圧を供給するようにした。

【0013】また、本発明の平衡型発振器は、前記スイッチダイオードをアノード同志またはカソード同志が互いに接続された第一のスイッチダイオードおよび第二のスイッチダイオードで構成し、前記中点または前記接続点と前記アノード同志との間、または前記中点または前記接続点とカソード同志との間に前記切り替えのための電圧を供給するようにした。

#### [0014]

50

【発明の実施の形態】本発明の平衡型発振器(以下、単に発振回路という)を図1を参照して説明する。第一の発振トランジスタ1と第二の発振トランジスタ2はそれちのエミッタ同志が定電流源3に接続され、コレクタには電源端子Bから抵抗4、4を介して電源電圧が印加される。また、第一の発振トランジスタ1のベースと第二の発振トランジスタ2のコレクタとの間、および第二のトランジスタ3のベースと第一の発振トランジスタ3のコレクタとの間には同じ構成の帰還回路5、5が接続される。帰還回路5、5は、それぞれ直列に接続された抵抗5a、第一の帰還コンデンサ5bおよび第二の帰還コンデンサ5cで構成されている。

【0015】そして、二つの帰還回路5、5のそれぞれ の第一のコンデンサ5bと第二のコンデンサ5cとの接 続点である第一の端子 a 、第二の端子 b 間に共振回路 6 が接続されている。共振回路6は、第一の端子aと第二 の端子bとの間に設けられたバラクタダイオード7、第 一の端子aと第二の端子bとの間に接続された第一のイ ンダクタ8、同様に、第一の端子aと第二の端子bとの 間に直列的に接続されるインダクタンス値が互いに等し い第二のインダクタ9および第三のインダクタ10、第 二のインダクタ9と第三のインダクタ10との間に接続 されたスイッチ手段11となる第一のスイッチダイオー ド11a及び第二のスイッチダイオード11b等を備 え、並列共振回路として構成されている。即ち、バラク タダイオード7は、直流阻止コンデンサ12と直列接続 されて第一の端子aと第二の端子bとの間に設けられて おり、このバラクタダイオード7には補正コンデンサ1

10

3が並列に接続されている。そして、バラクタダイオー ド7のアノードがバイアス抵抗14を介してグランドに 接続され、カソードには同調端子Vtから給電抵抗15 を介して同調電圧が供給されるようになっている。ここ で、バイアス抵抗14および給電抵抗15の抵抗値は、 バラクタダイオード7の逆方向漏れ電流が一般的には極 めて少ないので、数十乃至数百ΚΩ(キロオーム)の範 囲に選ばれる。

【OO16】また、第一の端子a、第二の端子b間に接 続される第一のインダクタ8は、インダクタンス値が互 いに等しい第四のインダクタ8aと第五のインダクタ8 bの二つで構成される。一方、第二のインダクタ9と第 三のインダクタ10との間に設けられているスイッチ手 段11となる第一のスイッチダイオード11aと第二の スイッチダイオード11bは、一端(カソード)同志が 接続され、他端(アノード)はそれぞれ第二のインダク タ9および第三のインダクタ10に接続されている。そ して、第一および第二のスイッチダイオード11a、1 1 b のカソードにはバイアス抵抗16の一端が接続さ れ、このバイアス抵抗16を介してバイアス端子Bfか らの固定バイアス電圧が印加されいる。また、第一のイ ンダクタ8の中点である第四のインダクタと第五のイン ダクタとの接続点には給電抵抗17の一端が接続され、 この給電抵抗17を介して切り替え端子Bsからの切り 替え電圧が供給されるようになっている。なお、固定バ イアス電圧および切り替え電圧に重畳されているノイズ をカットするために、バイアス抵抗16の他端と給電抵 抗17の他端とはそれぞれ直流阻止コンデンサ18、1 9を介してグランドに接続している。また、給電抵抗1 7の他端はバイアス抵抗20を介して直流的にグランド に接続している。

【0017】以上の構成の平衡型発振器において、例え ば、テレビジョン信号のうち周波数の高いハイバンドの 信号を受信する場合(以下、ハイバンド時という)に は、第一のスイッチダイオード11aと第二のスイッチ ダイオード11bとを導通状態として第二のインダクタ 9と第三のインダクタ10とを高周波的に直列接続し て、第一のインダクタ8に並列に接続する。従って全体 のインダクタンス値を減少して共振回路6の共振周波数 を高くする。一方、テレビジョン信号のうち周波数の低 いローバンドの信号を受信する場合(以下、ローバンド 時という) には、第一のスイッチダイオード11aと第 二のスイッチダイオード11bとを非導通状態として第 二のインダクタ9と第三のインダクタ10とを高周波的 に切り離すことによって共振回路6の共振周波数を低く するようにしている。このために、第一のスイッチダイ オード11aと第二のスイッチダイオード11bとのカ ソードにはバイアス端子Bfからの固定バイアス電圧を 常時印加しておき、ハイバンド時は切り替え端子Bsに 固定バイアス電圧よりも電圧の高い切り替え電圧を供給 50 する。また、ローバンド時は、切り替え端子Bsにはほ ぼりボルトの切り替え電圧を供給するかまたはこの切り 替え端子Bsを解放する。

【0018】以上のように、本発明の平衡型発振器で は、バンド切り替えのためのスイッチ手段11が第二の インダクタ9と第三のインダクタ10との間に設けてい るので、スイッチ手段11にバイアス電圧を印加するバ イアス抵抗16の抵抗値が小さくても平衡度がくずれる ことがない。これは、第二のインダクタ9と第二のイン ダクタ10との間に仮想のグランドが存在するためであ る。そして、スイッチ手段11に二個のスイッチダイオ ード11a、11bを用いてこのスイッチダイオード同 志の接続点にバイアス電圧を給電するようにしているの で平衡度に優れた平衡型発振器が構成できる。またこの 場合、第二のインダクタ9のインダクタンス値と第三の インダクタ10のインダクタンス値とをほぼ等しくする ことによって平衡度は一層保たれる。

【0019】なお、第一のスイッチダイオード11aと 第二のスイッチダイオード11bのそれぞれのアノー ド、カソードの向きを逆にしてもよい。この場合はバイ アス端電圧と切り替え電圧の供給方向と電圧の高低関係 を変えればよい。また、第一のスイッチダイオード11 aあるいは第二のスイッチダイオード11bのいずれか 一方を削除して、第一のインダクタ9と第二のスイッチ ダイオード11bのカソードとを直接接続するか、ある いは、第二のインダクタ10と第一のスイッチダイオー ド11aのカソードとを直接接続してもよい。

【0020】さらに、第一のインダクタ8を一個のイン ダクタで構成しても良く、インダクタンス値が1/2と なる第四のインダクタ8aと第五のインダクタ8bとの 二個で構成してもよい。

#### [0021]

40

【発明の効果】以上のように、本発明の平衡型発振器 は、第一の端子と第二の端子との間に接続されるととも に発振周波数を変えるための同調電圧が供給されるバラ クタダイオードと、第一の端子と第二の端子との間に接 続された第一のインダクタと、第一の端子と第二の端子 との間に直列的に接続される第二および第三のインダク タとを備え、第二のインダクタと第三のインダクタとの 間にこれらの第二のインダクタと第三のインダクタとを 高周波的に接続または切り離すスイッチ手段を設けたの で、スイッチ手段は第二のインダクタと第二のインダク タとの間に存在する仮想のグランド点に設けられること になり、平衡度に優れた平衡型発振器が構成できる。

【0022】また、本発明の平衡型発振器は、第二のイ ンダクタのインダクタンス値と第三のインダクタのイン ダクタンス値とをほぼ同じとしたので、平衡度が一層向 上する。

【0023】また、本発明の平衡型発振器は、スイッチ 手段をスイッチダイオードで構成し、第一のインダクタ

7

の中点とスイッチダイオードの一端との間にスイッチダイオードを導通または非導通に切り替えるための電圧を 供給するようにしたので、第二のインダクタと第三のインダクタとを直列接続して且つ第一のインダクタに並列 接続することが簡単になる。

【0024】また、本発明の平衡型発振器は、スイッチ手段をスイッチダイオードで構成し、第一のインダクタを互いに直列接続された第四のインダクタと第五のインダクタとで構成し、第四のインダクタと第五のインダクタとの接続点とスイッチダイオードの一端との間にこの」10スイッチダイオードを導通または非導通に切り替えるための切り替え電圧を供給するようにしたので、第二のインダクタと第三のインダクタとを直列接続して且つ直列接続された第四のインダクタおよび第五のインダクタに並列接続することが簡単になる。

【0025】また、本発明の平衡型発振器は、スイッチダイオードをアノード同志またはカソード同志が互いに接続された第一のスイッチダイオードおよび第二のスイッチダイオードで構成し、第一のインダクタの中点または第四のインダクタと第五のインダクタとの接続点とアノード同志との間、または第一のインダクタの中点または第四のインダクタと第五のインダクタとの接続点とカソード同志との間に切り替えのための電圧を供給するようにしたので、局部発振器の平衡度はさらに優れたものとなる。

\*【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の平衡型発振器の回路図である。

Я

【図2】従来の平衡型発振器の回路図である。

【符号の説明】

1、2 発振トランジスタ

3 定電流源

4 抵抗

5 帰還回路

5 a 抵抗

5 b 第一の帰還コンデンサ

5 c 第二の帰還コンデンサ

6 共振回路

7 バラクタダイオード

8 第一のインダクタ

8 a 第四のインダクタ

8 b 第五のインダクタ

9 第二のインダクタ

10 第三のインダクタ

11 スイッチ手段

11a 第一のスイッチダイオード

11b 第二のスイッチダイオード

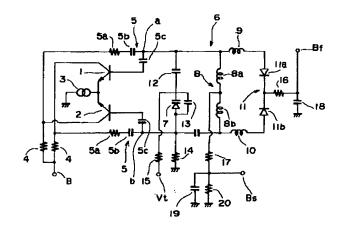
12、19、20 直流阻止コンデンサ

13 補正コンデンサ

14、16、20 バイアス抵抗

15、17 給電抵抗

【図1】



## [図2]

